

平成28年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	技術開発支援事業(共同研究)	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	大学連携等による調査研究事業		事業区分	助成(応募型)	

1. 事業目的

公募型助成事業の一環として、北陸地域の社会資本整備に係る地域づくり、産業振興、建設技術等に関する課題の解決に向けた技術開発、調査研究を行う研究グループを支援し、地域のさらなる活性化と地域振興を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

- ◆共同研究1
「ソルガムきびが拓く地域自立型環境モデルの普及体制の確立」
天野 良彦(信州大学)他7名
- ◆共同研究2
「短時間多量降水による広域斜面の崩壊予測とそれに対する地域住民の安全確保および道路・河川への危険度に関する研究」
川村 國夫(金沢工業大学)他7名

3. 事業実施概要

- ◆共同研究1<継続>
過疎化が進む中山間地域でソルガムを栽培し、子実は穀物、茎葉はキノコ培地や肥料、メタンガス発電に利用し、畑地に戻す循環型の農業システムを確立する。
2年目の今年は「栽培体系の確立」と「子実の活用」を実施した。第2回食品コンペを12月8日長野市で実施し、商品化に向けたバイヤーとの調整等を行った。
- ◆共同研究2<新規>
石川県中能登地域を対象に、新たな危険度評価やハザードマップ作成及び地域防災計画や職員行動マニュアル作成支援による地域防災力向上を図るため、対象地域の現状把握、土質や雨量地下水位観測、雨量解析、災害危険度・危険範囲の予測、防災計画の提案を行った。
検討会を3回実施(うち1回は中能登町役場)。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

地方が抱える課題や地域の安全・安心のため、循環型農業システムの確立及び土砂災害危険地域の防災対策に関する2件の調査研究を実施した。
ソルガムはシステムのビジネスモデル化に向けた体制の検討を実施し、広域斜面崩壊予測は防災対策のための基礎調査・研究・提言を実施した。各研究者の専門性を活かし、地域の活性化が一層促進されると期待できる。

◆共同研究1



食品コンペ(H28.12.8)

◆共同研究2



検討会状況



検討会状況



報告書の一部
※報告書はHPに掲載